

「私たち事務部はこんな仕事をしています！」

病院事務職員
業務案内2025

★総務課

総務係

職員係、経理係に属さない病院のありとあらゆる運営に関する多種多様な業務を行っています。これからの時代に必要なDX関連や災害関連、そして情報発信などの業務を担っています。

経理係

予算管理、支払、契約、物品購入など病院の財政面のあらゆる業務を担っています。とりわけ、今後の病院の経営改善を行っていくための重要な役割を果たしています。

職員係

職員の給与、人事、労務管理。特に今後は看護師などの医療人材の確保や離職防止対策、モチベーションの向上など職員に関する様々なことを担っています。

施設管理係

病院の施設整備や維持管理・営繕、ボイラーや電気設備、水道など建物としてなくてはならないものの管理を担っています。
※ボイラー技士や電気技師等専門の職員が配置されています

★医事課

医事係

診療報酬請求、病院未収金管理、施設基準の届出・管理など、入院・外来収益に関連する業務を行っています。

病院経営の根幹となる診療報酬を得るための施設基準を満たせるよう、多職種と連携を取りながら病院の運営を担っています。

情報係

カルテの管理や内容の改善・向上やDPC係数の向上を図る取り組みのほか、名寄市立総合病院の様々な医療データの管理や集計、分析を担っています。
※診療情報管理士が配置されています

「公務員だからって、お堅くないよ！！」

公務員って、なんとなく「お堅い」「お役所仕事」ってイメージがありますが、病院の場合は医師や看護師といった医療職の方たちとたくさん関わります。もちろんデスクワークもありますが、多職種との連携や調整が大事で、いろんな職種の人と交流を持つことができ、そこからどんどん関係性を深めたり、広げていくことができるのも魅力です！

職員間の親睦を深めるために、夏はビールパーティー、秋はスポーツレク、冬は忘年会と福利厚生会を中心として、開催しています。

その中で事務部の職員は、それらの運営に回る立場ではありますが、普通に楽しんでいます！

↓病院歓迎会

ビールパーティ
(これでも管理職www)

↑玉入れ大会&打ち上げ

病院事務

として働く

地方公務員

になってみないか！？

病院事務職員、それは・・・

「裏方」 として見えないところから病院を支え、 病院を前進させるための 「推進力」

「病院経営の根幹」

名寄市立総合病院は、名寄市の病院でありながら宗谷管内まで含めた広い道北地域で医療を提供している病院です。病院では、医師をはじめ特殊な資格を持った医療職が患者さんの診療、看護などをおこなっております。窓口業務以外の事務職の方は、そういった意味では患者さんからは顔が見えない仕事かも知れませんが、病院は、地域住民にとっては極めて重要な社会インフラです。安心した生活には必要不可欠な企業です。人口減少、高齢化と言われて久しく、今、病院に求められているのは、社会の変化や医療ニーズに、病院機能や形態を、未来を見据えていかに合わせていくかです。

病院事務職に求められるのは、人口減少や高齢化など社会の変化を機敏に感じ、必要な情報を収集して病院の方向性を企画、実施へと繋げていくことであり、それは病院経営の根幹となる仕事です。また、さまざまな物品の購入や管理、医事、職員の給与など多岐にわたる業務を滞ることなく進めることで、今ある医療を立ち止まらせることなく提供できる環境を整えていくのも大切な仕事です。患者さんからは直接見えにくい仕事であるかも知れませんが、**事務職**は病院全体の運営を流れるように進める**推進力**であり、それは計り知れない**地域貢献と住民の安心へと繋がる仕事**です。是非、やりがいを持ち、感じていっしょに汗を流して欲しいと思います。



院長です

私たちが求める人材はズバリ、情熱を持って『行動できる人!』

今回募集をする病院事務職員には、医療関係の資格や知識・経験は必要ありません。情熱を持って『**行動できる人**』であれば、それで十分です。

情熱を持って“行動”していくことで知識・経験は積み重ねることができます。“行動”することにより、多くの勉強になる出来事と少しの成功をきつと積み重ねていくことができます。そこから新たな目標ができ、さらにやる気が湧き上がり、そしてそれまで以上のステップアップした“行動”にチャレンジしていけることでしょ。

地域医療を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。しかしながら、私たちは**この地域の医療を守り続けなければなりません。存続し続けること、そして地域住民の命と健康を守り続けること、それが当院の最大の使命です。**そして、それを実現することが、私たち病院職員の永遠のミッションです。

病院事務職員だからできることがあります。病院事務職員にしかできないこともあります。資格、知識、経験は持ってなくて大丈夫です。私たちは情熱を持って『行動できる人』を望んでいます。

皆さんの“行動(応募)”を心からお待ちしております。

地元で働く

名寄市で生まれ、高校入学で一度名寄市から離れましたが、将来は地元である名寄市のために働きたいという考えがありました。高校生のとき、進路に悩んでいると、家族から名寄市が事務職を募集しているという話を聞き、自分の夢を叶えるチャンスだと思い受験することを決めました。

楽しく仕事ができる環境

仕事をしていると、普段経験することがないことや知らないことも多く、不安や悩みもちろんです。優しく頼りになる上司や先輩方に支えていただける環境のおかげで毎日新鮮な気持ちで楽しく仕事をする事ができています。自分も1日でも早く先輩方のようになれるよう、日々勉強しています。

プライベートの充実

趣味である野球は小学校から続けており、大会で活躍するため仕事終わりに日々、練習を頑張っています。土日の休みは家でのんびりと過ごすことが多いですが、ときどき土日の休みに1日休みを追加して取得し、趣味である旅行へ行ってリフレッシュしています。このように趣味を存分に楽しむことができるのも魅力の一つだと思います。



総務課総務係 主事
市役所(国保)から病院へ(病院歴: 1年半)
現在、絶賛ダイエット中。市役所野球部のガラスのエース



総務課職員係 主事
市役所採用で最初の配属が病院(病院歴: 1年ちょっと)
ハッピーボウリングマン。やっとな腹することなく旭川まで運転できるようになりました

I LOVE 地元

私の地元である名寄市は豊かな自然と商業施設や医療がある非常に暮らしやすいまちです。また、温かい人たちも多く、このまちで働きたい、地域の発展に貢献したいと小さい頃から考えていました。そんな中で名寄市事務職員の募集を見つけ、「これだ!」と思い受験しました。

日々成長

業務中分らないことや困ったことがあってもすぐに上司や先輩たちに相談できる、時にはふざけあって笑いあえる非常に温かく働きやすい職場です。仕事を通じて新しい知識や技術を学ぶだけでなく、医師や看護師といった他の職種の人とも関わるので、視野を広げて物事を考えるなど、自分の成長を実感できる毎日を送っています。

新たな発見

職場の上司に誘われたのをきっかけに病院ボウリング部に入り、ボウリングの楽しさに気づき、今では仕事終わりに休日など定期的にボウリング場へ足を運ぶようになりました。ボウリングを通して、普段仕事で関わらない職種の人たちとも交流できるので、新鮮でとても楽しいです。院内で会った時も、そこでつながった人たちと雑談や仕事の話ができるようになり、業務の助けになっています。